

林檎の森

りんごのもり

12
2018
vol.437

特集1 年金友の会

「相幸会」忘年会開催

特集2

リンゴ生産と産地力の強化
～商品力の高いリンゴ生産に向けて～

年金友の会 「相幸会」忘年会開催



フラダンスショー

12月1日、浅虫さくら観光ホテルで年金友の会「相幸会」の忘年会が開催され、約60名の会員が参加した。
会場ではフラダンスショーや職員による会員参加型のアトラクション、カラオケ大会が行われ大いに盛り上がりを見せた。参加者はアトラクションなどを楽しみながら、友人らとの会話に花を咲かせ、春の集いも楽しみにしていた。



山内 キヨエさん
「一天」
津軽ひろ子



石岡 勝彦さん・溝江 昭子さん
「銀座の恋の物語」
石原裕次郎&牧村旬子



拍手と笑顔が絶えない1日となった



絶景の宿 浅虫観光ホテルで開催



海の眺めが最高だった



日頃の感謝を込めて職員が全力で盛り上げた



紙飛行機を飛ばして飛距離を競った



鮮やかな飛行を披露！



思い思いに紙飛行機を作り上げた



上位入賞者には賞品が！



気になる飛距離は…!!!



カラオケ大会



山内 茂さん
「これから音頭」
大泉逸郎

特集

リンゴ生産と産地力の強化

〜商品力の高いリンゴ生産に向けて〜

外観



生産への「こだわり」

良食味で高品質なリンゴ生産を基本としながらも、様々な消費者ニーズに対応した付加価値の高い商品が評価を受けている

美味しいリンゴづくり。それは、

蜜入り



産地のプライドを掛けた商品づくりとも云えよう。外観・蜜入り・糖度、これらは全て生産者が作り出す芸術品であり、マネジメントの二つだ。いずれも消費者から高い評価を受け、農家の所得増大に大きく結び付いている。一方、消費者も商品に対するこだわり、価格以上



の感動を与えてくれる商品を探求しているのが現状だ。今回は、消費者の「嗜好」という視点から販売戦略を考慮したリンゴ生産を考えてみたいと思う。高単価を生み出すためには、消費最前線の声が欠かせない時代になっているのだから。

瞳に映る美味しさ

リンゴの魅力は様々であり、食べて味わう美味しさ以外にも消費者を虜にさせるものがある

赤くて大きなリンゴ。これは贈答用リンゴとして需要が高く、長年に渡って高単価を生み出している要素の一つだ。やはり、日頃からお世話になっている方に贈るリンゴは高品質なものを届けたいという気持ちがあり、それは昔も今も変わらないことである。近年は

特に贈答用リンゴが品薄傾向であることから価値観が高まっている。

また、食味良好なことは大前提ではあるが、食べて感じる旨み以外に目で見て味わう喜びも一躍を担っている。それが「蜜入りリンゴ」だ。あの透き通るような蜜は、食欲をそそるだけでなく、言葉

葉とらずりんごはどっち？



見た目の大切さ

葉とらずりんごは特に重要

に出来ないほどの幸せを私たちに与えてくれている。リンゴの見た目は、購買意欲を高めることに大きく影響していることが伺えるほか、瞳から受ける印象はリンゴが持つ本来の味を超えるほどの力を発揮していると言っても過言ではないだろう。また、消費者の満足感や産地を記憶させるものに繋がっており、瞳に映る美味しさは欠かせないものとなっている。

まず、左の2つの写真を見比べ



糖度

てみたいと思う。消費者目線であなただが購入するとすれば、どちらを選ぶだろうか。きっと、誰もが上にある着色良好な方を選ぶはずだ。

これは、いずれも同じ品種で入庫された葉とらずりんごであり、着色管理によって大きく差が出たものである。いくら葉とらずりんごだからといっても、双方が同じ売場に陳列されると価格差をつけないと下のりんごは売れないだろう。やはり消費者から選ばれるりんご生産で高単価を生み出し、他産地を圧倒するような産地づく



「色ムラ」=おいしいという感覚を消費者に覚えてもらうためには…

りをするには、他とは違った手法が必要になる。「他ではこれでやっている」では私たちが本来望む所得増大には繋がらないのだ。見た目や食味といった品質低下を機に、消費者から見放されることが一番恐ろしいことである。これは産地力にも大きく反映されることから、葉とらず栽培にあたっては特に産地一体となって気を付けたい部分である。果たして、皆さんが今年度入庫した葉とらずリンゴはどちら寄りだろうか。

「赤いりんご」=美味しいという消費者認識の中、「色ムラ」=美味しいという認識に変えるためには、見た目を超える味のインパクトが必須である。

商品力アップに向けて

十分に味をのせ、鮮度の高いリンゴを消費者に供給することが大切である

最近では、成らせ過ぎや早もぎによる食味低下が価格低迷の一因ともなっており、十分に味をのせたリンゴ生産が重要となっている。やはり、リンゴが売れるためには品質が良いことに加え、消費者ニーズに合致している必要性があり、これが収益性向上に大きく繋がっていることから今後も重視していきたいところだ。

また、高品質なリンゴ生産に向けては、着色・大きさ・形状などを向上させるために受光態勢を考慮する必要がある、商品力の高いリンゴ生産には整枝剪定が欠かせないものとなっている。そして、糖度の高いリンゴ生産が拡大傾向にある中で、葉とらず栽培な



写真1) 葉に日光が当たらない部分は光合成能力を十分に発揮しない

葉の能力を 最大限に活かす



徒長枝整理前



徒長枝整理後



◀反射シートで樹冠内部を明るくすることによって、着色だけでなく味も向上する



日光を当てる工夫が重要

どについては特に重視しなければならぬものである。まずは、これから始まる剪定から商品力アップに繋げていくことが先決である。平成30年産リンゴの収穫が終了したばかりだが、良品果を安定して多く生産するために、今からしっかりと取り組みたいところだ。

栽培のポイント

「こだわり栽培」は受光態勢を整えることが重要であり、今から計画的に剪定作業を進めることで省力化にも繋がる

近年増加傾向である「飛馬ふじ」と「葉取らずサンふじ」。どちらも味にこだわったリンゴとして飛馬リンゴの「顔」となっている。31年産リンゴの剪定が始まる前に良品化率向上のポイントをおさらいしてみたい。

写真1は、9月下旬に撮影した葉取らずサンふじの内枝部分の様子である。リンゴの陽光面がつつすらと赤くなり始めている。葉取らずサンふじは、葉の養分を最大限リンゴに送り込むために葉を取らない栽培方法であることはご存

じのとおりである。葉は光エネルギーを浴びて養分を生み出し、樹や果実に栄養を送っている。また、水分は樹の根から吸われ、葉や果実の蒸散によって吐き出されるといふサイクルで樹の中を移動している。土壌からの養分はこの水の流れに乗って運ばれるが、光を浴びて葉が健全であると蒸散量も多くなり、それに伴って多くの養分が転流する。光を当てるといふ作業は、養分の「産出」と「転流」を活性化させることを意味し、ただ葉が付いていれば良いというわけではない。

皆さんは、園地で「美味しいリンゴを1個採ってください」と頼まれた時、日陰になった内側のりんごを採って差し出しますか？光を十分に浴びた外側のリンゴを差し出しますか？ほとんどの人は後者のリンゴを差し出すのではないだろうか。光エネルギー云々と言葉で説明すると少し難しいが、皆さんは実体験で「光の当たっている場所のリンゴは美味しい」と感じている事だろう。

葉取らず栽培や飛馬ふじはこのような理由から、日照量が減少し

てくる9月下旬頃から反射シートで光量を補ったり、徒長枝を整理して葉に日光を当てる工夫をしてあげること、玉回しをして着色ムラを少なくしてあげることが良品化率向上には重要となる。

しかし、内枝の日光が入りにくいとところはどうしても着色しにくく、そこで玉回しをしたところで着色度合が上がることはまずない。日光が入りやすいとされるわい化栽培であっても、過繁茂であれば着色が難しくなる。このような場所では、葉取らずといえども徒長枝の整理や若干の葉つみを行って、



日当たり良好だと、玉回しのみで着色可能



日当たりが良くない枝に限り、葉摘みも併用

残りの葉に日光を当ててあげた方が着色、味とも向上するのではないだろうか。「葉取らずなのに葉を取るの?」とよく聞かれるが、日光に当たっているリンゴの方が数倍美味しいという皆さんの実体験を思い出してもらえば、納得いただけるのではないだろうか。

計画的な栽培を進める

計画的に剪定を進めることで品質向上にも結び付く

ところで、皆さんは「葉取らずサンふじを

栽培しよう」と決定しているのはいつだろうか。労働力が足りないと感じるようになる摘果や葉摘みの時期だろうか。それとも、これから始まる剪定の時期だろうか。完全に葉を取らない栽培を目指すのであれば、これから始まる「剪定」が品質を左右していくことになる。前段で述べたように、リンゴに日光をまんべんなく当ててあげるためには、剪定によって日光が入る空間を作ってあげなければ

ならない。葉を取るつもりで剪定するのと、始めから葉を取らないという気持ちで剪定するのでは樹形に差が出るはずであるし、それが品質に直結してくるのは想像のとおりである。農業経営を考えると収量は重要であるが、もともと葉摘みや着色管理にかかる人手が足りないのであれば、大枝を落として若干収量を少なくしても、受光体制を整えて品質向上を狙った方が得策ではないだろうか。



着色した(11/7撮影)



状態(11/7撮影)

向かう「姿勢」が重要

「飛馬ふじ」は、生産者一人一人の
高い意識づくりによって究極の味
が誕生する

飛馬ふじは、栽培申込みが前年の11月末までとなっている。31年産の申込みは、30年の11月末で終了している。これは、「飛馬ふじに取り組むぞー」という意識づけを行い、冬の剪定から土壌診断に基づいた春の施肥、摘果終了や葉取り開始の時期の指定など、年間を通して「外観と味の追求」を念

頭に置いた栽培に取り組んでいるからである。また、着色不良果を少なくするために、着色優良系統のサンふじによる栽培に限定し、商品化率向上に努めている。結果、飛馬ふじは葉取らずサンふじや通常のサンふじに比べて玉流れがワランクアップする傾向にある。こだわりぬいた美味しいリンゴを提供したいという前向きな姿勢が、飛馬ふじの品質向上に現れている。



まんべんなく日光が当たるように剪定した樹は、樹冠内部まで



りんごに付着した葉のみを摘みとり、上部の葉を残した

◆ ◆ ◆
飛馬ふじも葉取らずサンふじも「美味しいリンゴ」を目指していることに変わりはない。もし、生産者間で品質に差が見られるとす

れば、「味の追求」か「作業効率優先」かの考えの差ではないだろうか。31年産リンゴのスタートとなる剪定作業。栽培方法に応じた枝の配列が両栽培における品質向上の第一歩である。



わい化の適正樹勢
葉を取らなくても着色している



わい化の強樹勢
葉に隠れた下枝は青いままである

果実販売動向

販売課 米澤 松太



11月の果実動向は数量増の単価安で推移しました。ミカンについては、極早生から早生種へ移行され、10月の好天から食味も良好で各産地とも入荷が安定し、堅調にスタートしましたが、酸抜けの早さから棚持ちや食味の低下が著しいうえに、入荷量が急増したことから、下げ基調での販売となりました。柿についても富有を中心に潤沢な入荷となり、弱含みでの販売となりました。

リンゴについては、青森県産早生ふじ系・シナノスイート・トキ等の中生種が極端に荷動きが悪い

中、長野県産サンふじがスタートし併売となり、青森県産は流通在庫が膨らみ低迷し、反面、長野県産サンふじは品薄感から堅調販売となりました。輸出についても、

トキを中心に食味の悪さや単価高により流通在庫が膨らみ、各取引業者の損失も大きくほぼ停止している状況です。下旬からは国内贈答需要期となり、蜜入り、飛馬ふじを中心に作業が追い付かない状況となり、加えて東南アジア向けのXmas春節需要により1月下旬までは予断を許さない状況が続きます。反面、全国的な気象被害により、スレ果等の下位等級の割合が多いことから、市場においては品薄の上位等級と需要のない下位等級の価格差が大きく、極端な二極化現象となっています。

高値が続いた野菜相場も、外食産業等の輸入物への転用に加え、好天による生育前進で潤沢な入荷となり荷動きが鈍く、11月からは軟調傾向に転じました。

今後、ミカン・リンゴについては売り場の中心で構成され、柿については終盤となっていることから売場は縮小傾向となる見込みです。また、生育の遅れているイチゴについても徐々に増加傾向となる見込みです。そのような環境のなか、リンゴについては年明け以降全国的に溢れている下位等級品が暴落を招く要因とならないよう全農あおもりや全国りんご関係機関と協力しながら企画販売を徹底するとともに売り場を拡張し、相場の安定を図ります。



11月に県内キャンペーンが行われ、長蛇の列が出来た。(JA十和田おいらせ下田支店)

全農あおもりデータ・11/30累計

品 種	つがる	早生ふじ	きおう	トキ	王林	サンジョナ	サンむつ	むつ	サンふじ	その他	合 計
単 価 (円)	2,757	2,771	2,835	2,769	2,952	2,689	2,217	4,447	3,140	2,620	2,780
前 年 比 (%)	117	99	119	116	105	100	91	87	103	96	107
数量(箱/10kg)	921,671	786,453	131,598	185,709	48,198	85,765	1,385	2,056	212,699	354,491	2,730,025
前 年 比 (%)	84	110	96	95	94	72	172	128	71	104	93

直売所「林檎の森」

直売所 澤田 翔



いつも直売所のご利用ありがとうございます。

平成30年も残りわずかとなりました。皆様は良い一年になりましたでしょうか？直売所「林檎の森」は、皆様の力添えにより無事に年末を迎える事ができました。12月30日は、午後4時まで営業しております。久しく来店されてなかったお客様、出荷者様もお越しいただければ幸いです。

〈つづ〉

今年は度重なる台風の影響から、贈答用リンゴの数量確保が心配となった出足になりました。しかしながら、出荷者の皆様の多大なご協力により、日を追うごとに陳列されるリンゴが増え、たくさんのお客様に美味しい飛馬リンゴを提供することが出来ました。品質が良く、手ごろな価格での出荷により、お客様が満足するリンゴを販売することが出来たと実感しています。出荷して下さった農家の方々には改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございます。今後とも何卒よろしくお願い致します。

〈店内商品〉

現在「林檎の森」には、しめ縄、もち米、切り餅、お神酒など年越し正月商品をそろえております。是非とも直売所「林檎の森」にてお買い求め下さい。

〈お願い〉

出荷する際に貼るバーコードは、マジックなどで品目訂正を行わないようお願いいたします。バーコードには商品の情報が入っており、レジで誤った情報を読み込むほか、レシートにも反映することからトラブルの原因にも繋がります。バーコードの品目を訂正する際は、再発行して対応するようお願いいたします。また、干したものの収穫した後に手を加えたものは、全て加工品用バーコードをお使い下さい。

〈最後に〉

新年度は1月4日からの営業となります。直売所スタッフ一同、笑顔で頑張りますので、皆様のご来店と出荷を心よりお待ちしております。

いきいき女性部通信

農業振興課 女性部担当 堀井 裕子



11月13日、JAゆづき青森本店で「青森県農協生活指導員県内研修」が行われ、県内JAから22名の生活指導員が集まりました。

今回は、JAゆづき青森女性部らくのう支部の牛乳普及活動の取組について研修し、実際に牛乳を使った調理実習も行いました。らくのう支部は、六ヶ所村庄内地区と東北町北栄地区の元気なお母さん達53名から構成されており、青森県産牛乳（あおい森の牛乳）を使った独自のメニューで牛乳消費拡大を目指しています。主に、地域のイベント

などでのPRや料理講習会を開催するなどして普及活動に努めています。

調理実習では、「牛乳もち」「牛型のミルククッ



JAゆづき青森女性部らくのう支部の方々



「牛乳もち」をつくっている様子

キー」「ツナと玉ねぎのクリームパスタ」をつくりました。どれをとってみても美味しく、時間もそれほどかからずに作ることが出来ました。「牛乳もち」は片栗粉と牛乳だけでつくることが出来るお手軽レシピで、帰ってから家で作ってみました。家族にも好評でした。

牛乳は、骨を丈夫にするカルシウムがいっぱいなのでエルダーミセス部会や女性部でも料理教室を行う機会には是非挑戦してみたいと思います。

外国人技能実習共同受入事業

ベトナム人実習生

当J Aは、新たに6名のベトナム人実習生を11月29日から受け入れました。外国人技能実習共同受入事業を活用してから3年目を迎え、現在では11名の実習生が活躍しています。

技能実習制度は、我が国が先進国としての役割を果たしつつ国際社会との調和ある発展を図っていくため、技能、技術又は知識の開発途上国等への移転を図り、開発途上国等の経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的としています。また、国際貢献のため、開発途上国等の外国人を日本で一定期間（最長3年）に限り受け入れ、「意図的」「計画的」「継続的」に指導し、習得させることによって全体的な業務処理能力や力量を育成しています。

新たに
6名
受入

第三期生紹介



LE THI HIEN

レー ティ ヒエン



CHU THI DUNG

チュー ティ ズン



DO THI TAM

ドー ティ タム



TRINH THI NHU QUYNH

チン ティ ニュー クイン



DUONG THI DUYEN

ズオン ティ ズエン



CAO THI HUONG

カオ ティ フオン

地域おこし協力隊 活動記 Vol.43



相馬地域おこし協力隊のあかりです。
今回は、10月24日に相馬中学校の道徳講話にお招きいただき、「考えよう！自分の未来と相馬の未来」というテーマでお話をさせていただいたので、その様子をご報告します！
相中生のキラキラした表情にご注目♪

この講話は、「中学生たちに郷土の魅力を再認識してもらいたい」という校長先生の想いに、私が手をあげさせていただいたことから実現した講話です。当日は、全校生徒68名を対象に、相馬の魅力や課題、地域の若手と取り組んでいる活動について約1時間お話ししてきました。

第1部では、相馬の魅力について「相馬に来て感動した出来事トップ3」をクイズ形式で発表。りんご作りにかける思いや、地域に密着した学習発表会、相馬でしか味わえない自然体験等、よそ者から見た相馬の魅力をお話しました。クイズに積極的に手を挙げてくれる相中生は本当に可愛かったです！

続く第2部では、相馬が直面している課題について、人口減少や担い手不足の問題などをグラフを使って説明しました。相馬では10年間で約450人も人口が減っていることに生徒たちは驚いていた様子で、「やば〜い」という声があがっていました。

最後の第3部では、これらの課題を乗り越えようと動き出した20〜30代の取り組みについて紹介し、私が活動する上でのモットー「自分たちの地域は自分たちで楽しくできる」というメッセージを伝えてきました。

講話終了後には、「相馬にはゲーセンもカラオケもないと思っていたけど、自分たちでできることからやってみようと思いました」など素敵なコメントをいただき、地域との関わりについて考えてもらうきっかけになれたかなと嬉しく思います。

このような機会をくださった相馬中学校の皆様、本当にありがとうございました！ 相中生大好きだよー♡



オンベと油売りが又、農協の役員室に来ている。家に居ると余さ

れていて、組合長と専務が顔をしかめないから度々来ているのだ。

油売り「ワ（吾）弘前の図書館へ行って「文藝春秋」の十二月号を見たら、去年の役員報酬の高額者が載っていた。

オンベ「例えばその番付は？」

油売り「十億円以上の人が十一人あるよ」

オンベ「日産のゴーンは？」

油売り「載っていないなあ——。どっというカラグリをしているか——」

オンベ「このほか、株の配当はタシタモンダベ？」

× × ×

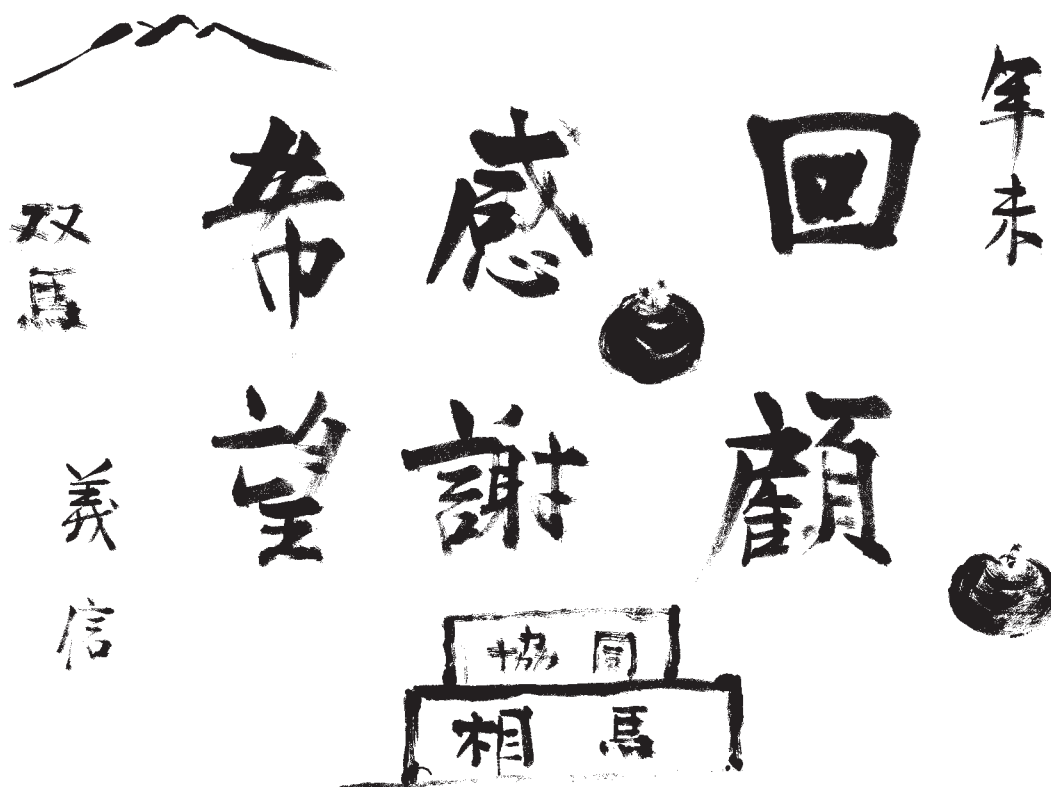
油売り「マンダ年賀状のときになったナ——。表も裏も打った活字ばかりのものは味気がないな——」

オンベ「あれは、生存報告というものだぞつだ」

◆ 役員報酬の高額者 ◆

- 1 平井 一夫（ソニー会長）
- 2 ロナルド・フィッシャー（ソフトバンク副会長）
- 3 マルセロ・クラウレ（ソフトバンク副社長）
- 4 ラジーブ・ミスラ（ソフトバンク副社長）
- 5 クリストフ・ウェバー（武田薬品社長）
- 6 瀬戸 欣哉（LIXILグループ社長）
- 7 赤澤 良太（扶桑化学工業副社長）
- 8 ディディエ・ルロワ（トヨタ自動車副社長）
- 9 吉田憲一郎（ソニー社長）
- 10 宮内 謙（ソフトバンク取締役）

（1位の平井氏は37億円）



十二月の川柳



JAに感謝
愛情精励 発展三十年暮れ

ねぶた最高賞
りんご生産販売こぞる町

土に惚れ
土を愛して 土になる

(田沢勝衛)

平成三十年もあつという間でした。
今月号では、田沢勝衛さんの「平成最後の年に残したい心」も紹介したいと思います。

りんごから
命頂き 命懸け

連れと歌
りんご愛せて 悔いは無し

手を繋ぎ
迷わず行こうよ 極楽浄土

編集部のつぶやき～編集後記～

今月号は、消費者の嗜好を踏まえた特集を書いてみました。また、様々な視点からリンゴの魅力を探る中で、赤肉品種にも興味を持ち、これについては、今後の広報で伝える機会があればチャレンジしてみたいと思います。最近食べた赤肉品種の「ルビースイート」は、果肉は基より食味に大きなインパクトを受けました。赤肉品種は酸味が強いイメージがありましたが、「ルビースイート」はイメージを一転させる甘味を持っていたからです。機会があれば、皆さんも是非食べてみてはいかがでしょうか。今後も旬な話題と高品質生産に向けた情報を発信できるよう振興課一丸となって取組んでいきたいと思っておりますので、2019年もよろしくお願い致します。良いお年を！ (S.daiky)

今月の表紙

本所フルステで贈答用リンゴの荷造り作業が繁忙期を迎えた。

理事会だより

11月20日 (火)

- 1) 10月末残高試算表について
- 2) 組合員の脱退について
- 3) 2018ディスクロージャー誌の縦覧について
- 4) 直売所運営課題と改善策について
- 5) マイカーローン金利引き下げについて
- 6) 教育ローン・マイカーローン特別推進運動について
- 7) 貸付関係について
- 8) りんご販売関係について
- 9) 固定資産取得について

今月のあなたの運勢 ★ 1月 ★

モナ・オサンドラ



♈ 牡羊座 ★ 3/21 ~ 4/19

全体運

できる人と比べ、落ち込みやすい傾向がチラリ。「人は人」と割り切って。リフレッシュするには神社散策が吉

健康運

食生活が乱れがち。特に暴飲暴食に注意

幸運を呼ぶ食べ物
タラ

♉ 牡牛座 ★ 4/20 ~ 5/20

全体運

前向きな気持ちになれる月です。やってみたいことがあるなら、積極的に取り組んでみて。新チャレンジも幸運

健康運

体を軽く動かすことで気力回復の兆し

幸運を呼ぶ食べ物
伊予カン

♊ 双子座 ★ 5/21 ~ 6/21

全体運

物事を邪推しやすく、不要なトラブルを招く原因に。余計な発言は控えるべき。開運には窓や鏡を磨くと効果大

健康運

ストレスを感じそう。十分な休息が大事

幸運を呼ぶ食べ物
ナバナ

♊ 蟹座 ★ 6/22 ~ 7/22

全体運

勢いがある反面、不注意になりそう。小さな失敗にクヨクヨせず、サッと切り替えましょう。観劇が良い刺激に

健康運

運動を満喫して。心身共に良い影響が

幸運を呼ぶ食べ物
長ネギ

♌ 獅子座 ★ 7/23 ~ 8/22

全体運

いつになく神経質になってしまうかも。深刻に受け止めやすいので、気楽に構えること。深呼吸でリラックスを

健康運

温活に力を入れると、順調に過ごせます

幸運を呼ぶ食べ物
おから

♍ 乙女座 ★ 8/23 ~ 9/22

全体運

レジャー運が盛り上がる予感。気の合う仲間たちとにぎやかに過ごして。新年会などの幹事役は進んで引き受けて吉

健康運

無茶なダイエットは×。肩の力を抜いて

幸運を呼ぶ食べ物
ワカサギ

♎ 天秤座 ★ 9/23 ~ 10/23

全体運

思い込みが激しくなる気配。特に伝言ミスをしやすいので、ご用心。また、慣れている作業でも確認を徹底して

健康運

なんとなく不調を感じがち。睡眠が必須

幸運を呼ぶ食べ物
ホウレンソウ

♏ 蠍座 ★ 10/24 ~ 11/22

全体運

知的好奇心を大切にしたい時期。気になるジャンルについて情報収集を。話題の映画を見るのもうれしい発見あり

健康運

おおむね安泰。スポーツやダンスを楽しんで

幸運を呼ぶ食べ物
ダイコン

♐ 射手座 ★ 11/23 ~ 12/21

全体運

プライベートの充実に力を入れると、満足感を得られます。興味を持っていた趣味や習い事を始めるのも正解

健康運

規則正しい生活を。特に早起きがグッド

幸運を呼ぶ食べ物
キンメダイ

♑ 山羊座 ★ 12/22 ~ 1/19

全体運

自分に自信が生まれそう。大胆にリーダーシップを発揮しましょう。また、未体験の世界に飛び込むのも大賛成

健康運

評判の健康法が体質にぴったり合うかも

幸運を呼ぶ食べ物
京菜

♒ 水瓶座 ★ 1/20 ~ 2/18

全体運

何かと迷いが生まれやすいもよう。1人で悩まず、信頼できる相手に相談してみても。気晴らしには音楽鑑賞が最適

健康運

つい食べ過ぎてしまう気配。節制が必要

幸運を呼ぶ食べ物
サワラ

♓ 魚座 ★ 2/19 ~ 3/20

全体運

今まで付き合ったことのないタイプと知り合える期間。飲み会には意欲的に参加して。趣味の集まりにも注目

健康運

疲れやすい暗示。早めのケアを心掛けて

幸運を呼ぶ食べ物
納豆

ひときわ輝くパートナー

「おらほのりんご」でさ行く編」



扉に描かれるアートが人目を奪う



泥除けにもこだわりが光る



サン北斗の食味はトップクラス



三栄急送(株)の帰山さんが本州最西端に位置する山口県へ出発！



ウロコ板に鯉が昇る



レトロな
コーナーボール



フロントバイザーにマーカが連なう

今回出荷された「サン北斗」は、甘味と酸味をバランス良くとった濃厚な味わいで、果汁たっぷりの品種。生産量が少ないことから、希少価値のある品種とも云えよう。是非一度、ご賞味あれ。

平成30年も残りわずか。今日も魅力溢れるトラックが美味しい飛馬リンゴを届けてくれた。

このたび、フルーツステーションを出発したのは、三栄急送(株)のトラック。サン北斗と早生ふじ約1000ケースが積み込まれた。行先は本州最西端に位置する山口県で、道のりは弘前市から約1600kmと長旅だ。そして、この「走る芸術」とも云える華麗なトラックを操るのは、細部までこだわりを見せる帰山さん(左)。電飾や扉に描かれた絵は、注目の的だ。また、トラックだけではなく、帰山さんの積み込みを手伝っていた女性ドライバーも印象的だった。運送業で活躍する女性も今後ピックアップしていきたいところだ。

魅力 Part 2



農業振興課
広報担当

齊藤 大貴

JA相馬村広報

林檎の森

2018.12 Vol.437

- 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497
- 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp
- 発行日
2018年12月15日

JA 相馬村概況

〈平成30年11月末日現在〉

組合員数	878人
(うち准組合員数)	363人
出資金	630,620千円
貯金額	10,021,710千円
共済保有高	3,425,629万円